

科目名 Course Name	人間関係とコミュニケーション I Human Relations and Communication I			ナンバリング No.	J1-002		
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	大熊信成						
連絡方法	C-ラーニング に対応。または福祉棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP2、DP3、DP4						
授業の概要と到達目標	<p>「人間関係とコミュニケーション I」では、介護実践のために必要となる人間の理解や人間関係形成の意義・概要について学習する。また、自分を理解すること、他者を理解することの重要性を理解し、他者とのコミュニケーションに必要な基礎的能力を習得する。</p> <p>①人間関係の形成における自己覚知・他者理解の意味と必要性について説明できるようにする。 ②コミュニケーションの種類について説明できるようにする。 ③対面コミュニケーションのパターンについて説明でき、留意点を列挙できるようにする。 ④傾聴、受容、共感の重要性とその要点について、説明できるようにする。 ⑤コミュニケーション技法を列挙し、その内容について説明できるようにする。</p>						
授業の方法	講義科目であるが、自己理解・他者理解のために、グループ演習を多く取り入れる。また、コミュニケーション技法についても、ロールプレイやグループ演習を通し、基礎的能力を習得できるようにする。また、学んだ基本知識を実際のコミュニケーションに活かせるようにする。リアクションペーパーを実施し、グループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。また必要に応じて小テストを実施するとともに介護福祉士国家試験対策も行い、知識の定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	自己覚知の姿勢を持って、自分が考える自己の傾向と他者から見た自己との相違について考え、述べることができる。					
	L03	円滑なコミュニケーションを図るための基礎的知識・技術を習得し、場面や相手に応じたコミュニケーションを図ることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	毎回の授業でリアクションペーパーを実施する。リアクションペーパーは振り返りを行い全員でシェアをする。また試験対策を行い、授業内で解答・解説を行う。						
教科書/参考図書	最新・介護福祉士養成講座 第 1 巻「人間の理解」第 2 版 中央法規出版 他 授業中に指示し、資料を配布する。						
履修上の留意点やルール等	一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認する。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。介護福祉士養成課程の学生のみ履修可。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:ソーシャルワーカー 職歴:通算 25 年) ソーシャルワーカーとしての経験を、学生指導をするときに活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。		20		
レポート/作品	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価である S は意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。		20		
発表					
小テスト					
試験	論述、選択記述式の定期試験を行い、評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。			60	

その他				
合 計			40	60

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業概要と進め方・成績評価の方法など) 自己紹介カードの作成とコミュニケーションゲーム【演習】
	事前・事後学習	コミュニケーションについてテキストを参照にしてノートにまとめること。
2	授業内容	人間関係とコミュニケーションの意義【講義】
	事前・事後学習	人間関係とコミュニケーションの意義についてテキストを参照にしてまとめること。
3	授業内容	人間関係の形成① 自己概念と自己覚知【講義と演習】
	事前・事後学習	自己概念と自己覚知についてテキストを参照にしてまとめること。
4	授業内容	人間関係の形成② 他者理解とラポールの形成【講義と演習】
	事前・事後学習	他者理解とラポールについてテキストを参照にしてまとめること。
5	授業内容	人間関係の形成③ 感情表現とその受け止め方【演習】
	事前・事後学習	感情表現について自己の生活を振り返りノートにまとめること。
6	授業内容	人間関係の形成④ 感情表現とその受け止め方【講義と演習】
	事前・事後学習	感情表現とその受け止め方について自己の生活を振り返りノートにまとめること。
7	授業内容	コミュニケーションの基礎① コミュニケーションの種類、対面コミュニケーションのパターン【講義】
	事前・事後学習	コミュニケーションの種類について調べておくこと。
8	授業内容	コミュニケーションの基礎② 人間関係と言葉づかい【講義と演習】
	事前・事後学習	人間関係と言葉づかいについてテキストを参照にしてノートにまとめること。
9	授業内容	コミュニケーションの基礎③ プラスアルファのひと言と肯定的な表現【講義と演習】
	事前・事後学習	リフレーミングについて調べておくこと。
10	授業内容	コミュニケーションの基礎④ 対人距離、会話の糸口【講義】
	事前・事後学習	相手との心理的距離を縮める方法についてまとめておくこと。
11	授業内容	コミュニケーション技法① 傾聴、共感、受容【講義と演習】
	事前・事後学習	傾聴、共感、受容の意味について調べておくこと。ノートにまとめること。
12	授業内容	コミュニケーション技法② コンセンサス法【演習】
	事前・事後学習	コンセンサス法について調べておくこと。
13	授業内容	コミュニケーション技法③ コンセンサス法【演習・発表】
	事前・事後学習	コンセンサス法のグループ討議について発表を行う。ノートにまとめること。
14	授業内容	コミュニケーション技法④ カウンセリング技法、生活場面面接【講義】
	事前・事後学習	カウンセリング技法について調べておくこと。ノートにまとめること。
15	授業内容	コミュニケーション技法⑤ アサーション、動作法【講義と演習】
	事前・事後学習	動作法について調べておくこと。ノートにまとめること。試験対策を行うこと。